

## 法勝寺歌舞伎保存会が地域伝統文化功労者表彰を受賞!

南部町を代表する民俗芸能である法勝寺歌舞伎保存会の活動が、伝統文化活性化国民協会から地域伝統文化功労者として表彰を受けました。同協会は平成13年に伝統文化の活性化を図り、日本文化の向上に寄与することを目的に設立された団体。今回の表彰は同保存会が永年にわたり町指定文化財である法勝寺歌舞伎の保存と継承に尽力し、地域に伝わる貴重な伝統文化の振興に多大な貢献を果たしたことが認められたものです。伝達表彰は3月18日、県庁第2庁舎の県教育長室で行われ、同保存会の事務局を担う原環さんが表彰状と記念品を県教育長から受け取りました。県内では昨年受賞した淀江さんこの節保存会に次いで2例目となります。



表彰式での様子

## みんなの想いが届きますように「がんばれ日本!」

ペットボトルキャップアート作り



一生懸命作りました!

3月31日、南部町総合福祉センターしあわせで「ペットボトルキャップアート」づくり挑戦しました。当日は南部町ボランティア連絡協議会のメンバー4名と、町内外の小中学校の児童・生徒20名の参加がありました。エコ活動・ボランティア活動の一環として大人と子どもが一緒になって楽しく作りあげ、約2時間で完成しました。参加した子どもたちは「たくさんの人に見てもらいたいな」と笑顔で話しました。

## 金山神社の春祭りに合わせて

大注連縄奉納

4月9日春季例大祭日の祭礼の前に大注連縄が取り替えられ奉納されました。

集落内の有志6人で、2月21日金山集会所で一日がかりの作業が行われ、この日まで倉庫に置かれていました。リーダーの笹谷育司さんは事前に町内及び米子市内の神社にお参りし、編み方などのノウハウを見学し準備を進めていました。

好天に恵まれた早朝、携わった人たちの肩に担われ本殿に到着し、古い注連縄を取り外し3年ぶりに新しい飾りになりました。

笹谷さんは「少子高齢化が進み、昔は誰もがやっていた伝統行事を受け継ぐ担い手が少なくなってきた。若い人たちも早く習得して欲しい。次はもっと手の込んだ注連縄にも挑戦してみたい。」と意気込みを話していただきました。どんなのが出来るか楽しみですね。



氏子のみなさんが飾り付け

## 着飾った子どもにも目を細め

天萬神社神幸祭・稚児行列

4月11日、天萬神社で勸学祭(稚児行列)が行われました。あいにくの雨模様で行列は中止になりましたが、当日は新1年生19人の参加がありました。

慣れない衣装に悪戦苦闘する子どもたちはあちこちで「冠がずれた〜!」「私のも直して〜!」と大騒ぎ。「今日はお姫様だけね、静かに座るときないよ」と世話役の方との賑やかな声も聞こえました。その後、かしこまった表情で学業成就を祈願してもらった子どもたち。保護者も成長した子どもたちの姿を笑顔で見守っていました。



烏帽子を被せてもらう男の子と本殿に向かう女の子

